

第2回テーマ

気候変動と 身近な環境問題



令和6年度 久喜市環境課主催

大学生と考える

高校生環境ワークショップ 実施成果発表

INTRODUCTION はじめに

令和6年度のテーマ

開催2年目である本年度は、**気候変動問題の本質**について学ぶとともに、みなさんの**身近にある環境問題**にフォーカスしながら、**今、自分たちにできること**を考えます。

今年度の実施行程

●第1回 気候変動適応のミステリーを体験（6月16日）

→“気候変動問題”は、自分の生活の中に存在し、様々なことが要因となっていることを知り、身近なところから今、自分たちにできることを考えよう！

●第2回 高校生が考える環境活動を具現化（7月21日）

→大学生の力を借りて、みんなで考えたアイデアを具体化してみよう！
専門団体の知識や高校生・大学生の学生力を生かして**実践的活動**へ発展！

●第3回 Saitama環境フェス活動報告会（9月22日）

→実際に実施した環境活動をまとめて活動報告をしよう！
また、この活動成果が久喜市をどのように変えるのか、考えてみよう！

“SDGs（持続可能な開発目標）”

久喜市環境課では、高校生環境ワークショップを通して、環境問題について考える場をご提供しています！



MEMBER 高校生環境ワークショップメンバー

A班 青パイヤ



原田 碩大
久喜工業高等学校



荒井 せお
久喜工業高等学校



小林 咲
不動岡高等学校



江面 穂栄
不動岡高等学校



前野 ゆい
久喜北陽高等学校

B班 彩のかがやき



嶋村 妃星
久喜工業高等学校



金城 琉花
久喜工業高等学校



佐々木 あいり
淑徳与野高等学校



平井 里実
久喜北陽高等学校

SUPPORTER 協力・支援

日本大学理工学部まちづくり工学科
岡田・田島・栗本研究室（田島助教）



助教 田島洋輔



M2 小野寺亮太



B4 阿部湧太



B4 高橋芽依



B4 後藤佑綺



PURPOSE 第1回高校生環境ワークショップの目的

次世代の『久喜市』を牽引していく“高校生”を対象とした環境ワークショップを通して次の**3つ目標**を達成することを目指しています。

- 1 気候変動問題をきっかけに**久喜市の環境課題**を知る・学ぶ
- 2 環境課題の解決策を検討する**課題解決力**を育む
- 3 20年後に向けた**久喜市の未来づくり**に参加する

PROGRAMS 高校生環境ワークショップの実施内容

Phase1 気候変動問題の基礎について知る・学ぶ

気候変動は、大規模化・頻発化する自然災害に加え、農作物への被害や熱中症などの健康被害の増加など、私たちの身近なところで影響が顕在化しています。この問題は、気候や地形、人口等の地域特性によって影響が異なることから、**各地域に適した緩和策や適応策を考え、行動する**ことが重要であることを学びました。



▲日本大学理工学部まちづくり工学科・田島助教による
気候変動問題の基礎知識に関する講義を受ける



▲ミステリーカードを用いて気候変動の原因と各種環境問題との関係性をあぶり出す

Phase2 気候変動に関する知識の共有

ミステリーカードの内容をよく読んで、それぞれのカードの関係性がわかりやすいように模造紙に整理しました。ここでは、大学生や高校生が既に持っている**知識や経験、アイデアをチームで共有**しながら、「原因と結果」や「類似した事象」などのさまざまな関係性をあぶり出していきます。

Phase3 気候変動の要因から影響までの物語を考える

最後に、気候変動の要因から問題が顕在化するまでの関連カードを矢印などでつなぎ合わせて気候変動に至るまでのストーリーを考えていきました。2班で同じミステリーカードを使用しましたが、全く異なる解釈の話の流れであり、**気候変動問題が複雑に絡み合っていることや不確実な事象もあること、正解は一つではないこと**の理解が深まりました。

気候変動の要因から影響までの
ストーリーを考え発表する



SUGGESTION

久喜市の環境問題に対し、**今、私たちができることを考える**



▲今、自分たちでできるアイデアを発表する

気候変動問題について理解を深めた上で、大学生とともに**高校生が取り組める気候変動対策**について考えるとともに、その取り組みが久喜市の環境行政にどのように貢献できるのかを議論しました。

主要テーマとしては、気候変動に伴う被害が相次ぐ農産物として、高温被害が相次ぐ「**お米**」と梨に変わって栽培されている「**青パイヤ**」に着目することにしました。今後は、各テーマごとに、農業被害の内容や規模、位置関係などに関して、農業専門家へのヒアリング調査や現地調査を踏まえ**フードロス対策事業**へ発展させていく予定です。

【資料作成・協力支援】

日本大学理工学部まちづくり工学科 岡田・田島・栗本研究室（田島助教）、M2小野寺亮太、B4後藤佑綺、阿部湧太、高橋芽依

PURPOSE 第2回高校生環境ワークショップの目的

第2回目は、“お米”と“青パイヤ”に関する気候変動問題への提案を具体化するため、次の**3つの目標**を達成することを目指します。

- 1 気候変動問題における**久喜市の農業被害の実態**を知る・学ぶ
- 2 久喜市の農業被害に関する**情報を整理し、地域課題を抽出**
- 3 高校生である自分たちにできる**具体的施策を検討・共有**する



▲久喜市環境課・川村課長補佐による
高校生環境ワークショップの開催意義の概説

PROGRAMS 高校生環境ワークショップの実施内容



▲埼玉県春日部農林振興センターの説明を受ける



▲班に分かれて具体的な質疑を実施

Phase1 久喜市の農業被害の実態を知る・学ぶ

農業の専門家をお呼びして埼玉県内における気候変動に伴う農業被害の実態について学び、各班に分かれて具体的な質疑応答を行いました。

具体的には、埼玉県春日部農林振興センターの平田さんと南彩農業協同組合北部営農経済センターの藤村さんより、県内における農業被害の実態に加え、気候変動による高温被害への対策として生まれた**耐熱性の高いお米の品種“彩のきずな”**の品種改良に至った経緯やおいしさの秘密や、栽培労力がかからず**熱帯果樹である“青パイヤ”**の栄養価やレシピ、JA南彩への導入経緯や認知度向上のための取り組みについて学びを深めました。

Phase2 気候変動対策に係る地域課題と具体的提案

久喜市の気候変動に係る農業被害の現状や、気候変動対策の実施状況を図やグラフ等にまとめたり、それら施策の実施場所や影響範囲を地図に付置する等、これまで得た情報を具体的に整理しました。さらに、これらの気候変動対策に係る情報を考慮し、各テーマの視点における**地域課題を抽出**し、それら課題を解決するための**具体的施策について検討**しました。



▲各情報を図表やグラフ、地図上に整理するとともに、地域課題と具体的施策を議論



▲青パイヤ班の具体的施策の提案状況



▲お米班の議論のプロセスと提案内容の解説

Phase3 今、私たちができる施策を共有する

おわりに、各班の検討成果（課題や提案）について情報共有を行い、これら提案内容の実現を目指して、次のステップに歩を進めていきます。

【お米班の議論内容】

- 課題：“彩のきずな”は、米の食味ランキングの最高評価（特A）を受けるが、**一般購入者へ情報が行き届かず、農家への普及率も低い。**
- 施策：一般購入者の購買意欲や農家の普及率を向上させるため、“**彩のきずな”の魅力を伝えるポスターやPOPを作成し、JA直売店で掲示。**

【青パイヤ班の議論内容】

- 課題：“青パイヤ”は、久喜市での生産量は多いが、**そもそも一般購入者への認知度が低いことが課題。**
- 施策：一般購入者の認知度向上を目的に、**青パイヤの栄養価や手軽なレシピを紹介するポスターやSNS動画を作成し、情報拡散を目指す。**

アナログ（高齢層）と
デジタル（若年層）の
両面で情報拡散を！

【資料作成・協力支援】

日本大学理工学部まちづくり工学科 岡田・田島・栗本研究室（田島助教），M2小野寺亮太，B4後藤佑綺，阿部湧太，高橋芽依

PURPOSE 気候変動対策に係る地域課題

【青パイヤ班の議論内容】

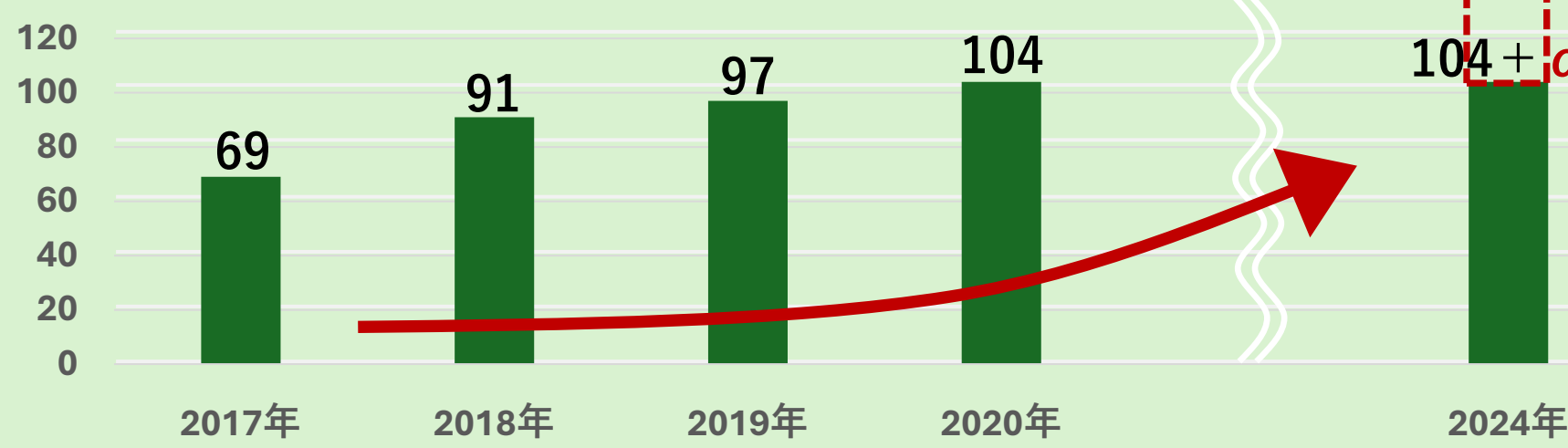
○課題：温暖化の影響で関東圏でも“青パイヤ”が栽培され始めている。この“青パイヤ”は、久喜市での生産量は多いが、一般購入者へ情報が届かず、認知度が低い。

【凡例】

- ：既存地域
- ：新規地域



耕作可能地域拡大 青パイヤを用いた商品 青パイヤ農家数の推移※1



※1 参照:JA南彩HP

【お米班の議論内容】

○課題：他の品種は温暖化による高温被害を受けている中“彩のきずな”は、米の食味ランキング※2の最高評価（特A）を受ける。しかし、一般購入者へ情報が行き届かず、農家への普及率も低い。

※2 参照:一般財団法人 日本穀物検定協会

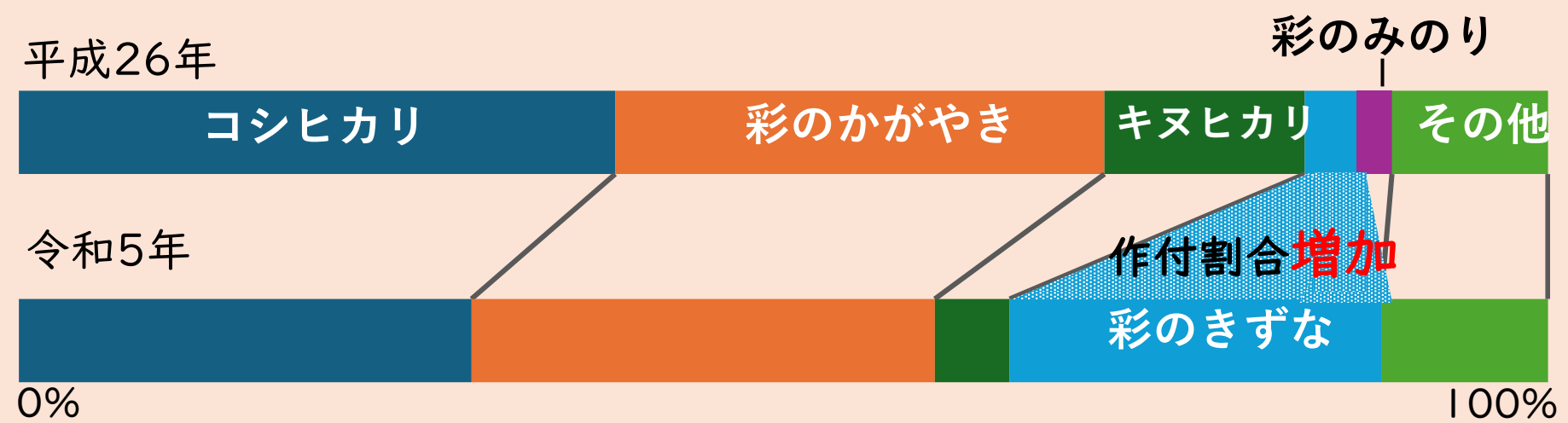
おいしいお米が減ってる!?



正常の米 高温被害を受けた米



埼玉県水稻種別作付割合の推移※3



※3 参照:埼玉県HP

ACTIVITIES 高校生環境ワークショップの実施内容

【青パイヤ班の取り組み】

○施策：一般購入者の認知度向上を目的に、青パイヤの栄養価や手軽でおいしいレシピを紹介するポスターのJA直売店での掲示やSNS動画を作成し、情報拡散を目指す。

○施策を実現するための取り組み



▲ポスター・動画構成の検討



▲料理実習

・成果物



▲掲示ポスター



▲Youtube Shorts 動画

【お米班の取り組み】

○施策：普段、彩のきずなを購入していない一般購入者の購買意欲を向上させ、農家への普及を促すため、“彩のきずな”の魅力伝えるポスターやPOPを作成し、JA直売店で掲示。

○施策を実現するための取り組み



▲彩のかがやきの試食



▲POP作成中

・POP成果物



▲佐々木 あいりさんの作品



▲金城 琉花さんの作品



▲平井 里実さんの作品



▲嶋村 妃星さんの作品

今後、久喜市の農産物直売所に掲載依頼
久喜市への動画掲載依頼を予定しています!!

今後、久喜市の農産物直売所に
掲載依頼を予定しています!!

【資料作成・協力支援】

日本大学理工学部まちづくり工学科 岡田・田島・栗本研究室（田島助教），M2小野寺亮太，B4後藤佑綺，阿部湧太，高橋芽依